

ランネート™45DF

■種 類 名：メソミル水和剤

■有効成分：メソミル ----- 45.0%

■化管法指定物質：メソミル [第1種] ----- 45.0%

■登録番号：第20863号

(エムシクロフ® & ライフ化成登録)

■毒 性：医薬用外劇物

■登録初年：2002.07.30

■性 状：青色水和性微粒及び細粒

■有効年限：4年

■包 装：500g×24本

TM コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

【特長】

- 広範囲の害虫に効果のあるカーバメート系殺虫剤。
- 人畜に対する安全性をさらに高めるため、粉立ちの少ない顆粒剤に改良され、さらに使いやすくなった。
- 吸汁性害虫、食葉性害虫に高い効果がある。
- 野菜、畑作物、いちご、茶など適用作物が広い。

【適用内容】(2023年10月末日現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	メソミル を含む農薬の 総使用回数			
かぼちゃ	ワタアブラムシ	1000	100～300 [㍓] /10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内			
いちご	イチゴメセンチュウ イチゴセンチュウ			育苗期 定植後生育初期	4回以内		灌注	4回以内		
	イチゴネグサレセンチュウ									
	コガネムシ類幼虫	1～2 [㍓] /m ²	移植活着後 (育苗期)							
ピーマン (露地栽培)	タバコガ ハスモンヨトウ	1000～ 2000	100～300 [㍓] /10a	収穫開始 14日前まで		散 布				
キャベツ	アオムシ、コナガ ヨトウムシ アブラムシ類 ハスモンヨトウ タマナギンウワバ			収穫14日前 まで	3回以内		3回以内			
はくさい	アオムシ、コナガ ヨトウムシ アブラムシ類						2回以内 (は種時の土壌 混和は1回以内)			
レタス	ヨトウムシ アブラムシ類			収穫21日前 まで	2回以内		2回以内 (植付時の土壌 混和は1回以内)			
	オオタバコガ ナメクジ類									
チンゲンサイ	アブラムシ類	1000		収穫14日前 まで	3回以内		2回以内			
こまつな							3回以内			
サラダ菜	ヨトウムシ アブラムシ類	1000～ 2000		収穫21日前 まで	2回以内			2回以内		
	オオタバコガ									
カリフラワー	ヨトウムシ アブラムシ類	1000		収穫7日前 まで						
ブロッコリー	ヨトウムシ									
	アブラムシ類	1000～ 2000								
かぶ	アブラムシ類 アオムシ	1000								
ごぼう	アブラムシ類									
ほうれんそう	ヨトウムシ ミナミキイロアザミウマ	1000～ 2000	収穫14日前 まで	4回以内		4回以内				
	アブラムシ類	1000								
ねぎ	シロイチモジヨトウ クロバネキノコバエ類	1000～ 2000	収穫7日前 まで							
	ネギアザミウマ									
たまねぎ										

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	メソミル を含む農薬の 総使用回数		
しょうが	ハスモンヨトウ	1000～ 2000	100～300㍓ /10a	収穫 7 日前 まで	4 回以内	散布	4 回以内		
だいこん	アオムシ、コナガ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ			収穫 21 日前 まで	2 回以内		2 回以内 (は種時の土壌混 和は 1 回以内)		
ばれいしょ	ジャガイモガ ナストビハムシ ニジュウヤホシテントウ	1000		収穫 7 日前 まで	5 回以内		5 回以内		
	アブラムシ類	1000～ 2000							
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ	1000～ 2000		収穫 14 日前 まで	4 回以内		4 回以内		
だいず	ハスモンヨトウ シロイチモジマダラメイガ マメシクイガ			収穫 7 日前 まで	3 回以内		3 回以内		
えだまめ	カメムシ類 ツメクサガ				5 回以内		5 回以内		
てんさい	ヨトウムシ トビハムシ			1000	収穫前日まで		2 回以内	2 回以内 (は種前の土壌混 和は 1 回以内)	
にんじん	ヨトウムシ ハスモンヨトウ アブラムシ類 クロバネキノコバエ類				1 回		1 回		
パセリ	アブラムシ類	2000			収穫 30 日前 まで		1 回	1 回	
茶	ハスモンヨトウ チャトゲコナジラミ	1000	200～400㍓ /10a	摘採 21 日前 まで	2 回以内		2 回以内		
	コカクモンハマキ チャハマキ チャノホソガ ミドリヒメヨコバイ	1000～ 1500							
	チャノキイロアザミウマ ツマグロアオカスミカメ	1000～ 2000						25～180㍓ /10a	収穫 10 日前 まで
たばこ	タバコガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ								
食用ゆり	クロバネキノコバエ類	500	—	植付前	1 回	30 分間 種球 浸漬	1 回		
セルリー	ヨトウムシ アブラムシ類 ハスモンヨトウ	1000	100～300㍓ /10a	収穫 30 日前 まで	2 回以内	散布	2 回以内		
アスパラガス	ネギアザミウマ			収穫前日まで	1 回		2 回以内 (散布は 1 回以内、 灌注は 1 回以内)		
	ナメクジ類		1 ～ 3㍓ /m ²	収穫 3 日前 まで				灌注	
にら	ネギアザミウマ クロバネキノコバエ類		1㍓/ m ²	収穫 21 日前 まで	2 回以内		2 回以内		
らっきょう	ネダニ類								

【効果・薬害等の注意】

- 本剤を使用した場合には、アラニカルブを含む剤は使用しないこと。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等アルカリ性薬剤との混用はさけること。



- はくさいに使用する場合は、定植後20日以内では葉害のおそれがあるので使用しないこと。また、定植後20日頃に使用する場合は、低濃度（2,000倍）で使用する。
- ジャガイモガに対しては、潜葉幼虫を対象に使用すること。
- イチゴネグサレセンチュウ防除の場合、苗の移植活着後(育苗期)に7～10日間隔で2～3回ジョロ等で灌注すること。
- ミナミキイロアザミウマの防除に使用する場合は、生息密度が高まると効果が劣るので、初発生をみたら直ちに散布すること。なお、ミナミキイロアザミウマは繁殖が早いので、散布はかけ残しのないようていねいに行うこと。
- ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若齢幼虫期に散布すること。
- 散布液の漂流飛散による危害を防止するため、特に水田転換作の大豆などに散布する場合は、フォームスプレー（泡散布）することが望ましい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないように注意すること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ◆ 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 本剤の使用に当たっては、危害防止のため使用条件などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- ❖ 作業中に、粉末や噴霧を吸い込んだ場合は、薬剤にさらされない場所に移り、安静にすること。薬液を多量に浴びたときには、衣服を脱ぎ、皮膚・眼をよく洗うこと。また、身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けること。
- ❖ 本剤による中毒に対しては、硫酸アトロピン製剤の投与が有効であると報告されている。呼吸が困難な場合は気道を確保すること。口移し人工呼吸は行わないこと。
- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けること。
- ❖ 薬液調製時及び使用の際は、防護マスク、保護眼鏡、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼するとともにうがいをする。
- ❖ 本剤の散布に当たっては危害防止のため、胸の高さ以下の作物に対して下に向けて散布することとし、作物が胸の高さを超える場合は絶対に散布しないこと。特にたばこでは、草丈が腰の高さの時までに散布すること。
- ❖ 施設内において灌注処理を行う場合は、出入り口、天窓、側窓等を開け、適宜、通気を確保して作業を行うこと。
- ❖ 本剤の灌注処理に当たってはハス口状ノズルを使用すること。また、危害防止のためハス口状ノズルを腰より下にして地面に向けて灌注すること。
- ❖ 被覆中の茶園や施設内など、噴霧のこもりやすい場所での散布は行わないこと。
- ❖ 高温多湿時の長時間作業及び疲労時の使用はさけること。
- ❖ 魚毒性等：河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する（甲殻類）。散布器具・容器の洗浄水は河川等に流さない。また、空容器などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。



作成日 2015年01月05日
改訂日 2023年06月14日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ランネット45DF
整理番号	3022-06
供給者の会社名称	北興化学工業株式会社
住所	〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
担当部門	企画部 環境安全チーム
電話番号	03-3279-5151
FAX番号	03-3279-5195
緊急連絡電話番号	03-3279-5151
推奨用途	農薬(殺虫剤)
使用上の制限	推奨用途以外の使用はしないこと

2. 危険有害性の要約 ～ 16. その他の情報

別添「コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社 ランネット45DF 安全データシート(発行日: 2022年02月10日)」を参照のこと。

化学品の名称: ランネート™45DF

発行日: 2022/02/10

印刷日: 2022/02/10

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社 は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M) SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。この SDS は、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: ランネート™45DF

推奨用途及び使用上の制限

特定用途: 殺虫剤

会社情報

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社

100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3410
電子メールアドレス : SDS@corteva.com
FAX番号 : 03-3519-3370

緊急連絡電話番号
24時間対応緊急連絡先 : 0800-170-5827
緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

急性毒性 - 区分 3 - 経口

急性毒性 - 区分 3 - 吸入

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) - 区分 2

水生環境有害性 短期 (急性) - 区分 1

水生環境有害性 長期 (慢性) - 区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語：危険！

危険有害性情報

飲み込んだ場合や吸入した場合は有毒。
長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（肺）の障害のおそれ。
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

安全対策

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
環境への放出を避けること。

応急措置

特別な処置が必要である（このラベルの補足的な応急処置の説明を見よ）。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
漏出物を回収すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

他の有害危険性

データなし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名

CASRN

化審法番号 安衛法番号

濃度又は濃度範囲

S-メチル-N-[(メチルカルバモイル) オキシ] チオアセトイミデート(別名メソミル)	16752-77-5	2-(5)-130	45.0%
アルキルベンゼンスルホン酸金属塩	69669-44-9	3-1884	>= 0.3 - < 1.0 %

4. 応急措置

必要な応急措置

吸入: 新鮮な空気のある場所に移動する。人工呼吸あるいは酸素吸入、場合によってはその両方が必要になることがある。中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。

皮膚接触: 汚染された衣類を脱がせる。直ちに皮膚を大量の水で 15~20 分間洗浄する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。

眼に入った場合: 目を開け水で 15~20 分間ゆっくり穏やかに洗う。コンタクトレンズを着用している場合は 5 分後に外し、その後も洗浄を続けること。中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。

飲み込んだ場合: 直ちに医師の診断を受ける。1, 2 杯の水を飲ませ、指で喉の奥のほうを触り吐かせる。しかし意識不明の患者には口から何も与えてはいけない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状:

上記の応急措置の記述、下記の緊急治療及び必要とされる特別処置の指示に記載されている情報に加えて、重要な症状や影響は項目 11 の有害性情報に記載されている。

緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

医師に対する特別な注意事項: 解毒剤として硫酸アトロピンを、アトロピン飽和の兆候が認められるまで投与する (1.2-2.0 mg i.v. 10-30 分毎)。一方、有機リン酸系殺虫剤と併用されたメソミルへの曝露に対して、上記に説明された硫酸アトロピン治療を補うため、2-PAM (1-2 g slow i.v.) を必要に応じて用いることがある。人工呼吸あるいは酸素吸入、場合によってはその両方が必要になることがある。完全に回復するまで、いかなるコリンエステラーゼ阻害剤にも暴露しない。モルヒネ治療をしてはならないことが、示されている。

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 水噴霧 粉末消火剤 泡 二酸化炭素 (CO2)

使ってはならない消火剤: 大型棒状の水

特有の危険有害性

有害燃焼副産物: データなし

異常な火災および爆発の危険：燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。

消防士へのアドバイス

消火手順：現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。区域から退避させること。未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。

消火を行う者の保護：消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：粉じんの発生を避ける。適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

環境に対する注意事項：環境への放出は必ず避けなければならない。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。汚染された洗浄水を保管し、処分する。流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。回収物質は、ペント付き容器に保管すること。漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。掃いてシャベルですくい取る。廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

保管：密閉容器に保管すること。適切なラベルのついた容器に入れておく。各国の規定に従って保管する。

次の製品種類といっしょに保管しない： 強酸化剤。

容器に不適な素材：知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

ばく露限界値が存在する場合は以下に記載されている。ばく露限界が表示されていない場合は適用しない。

化学名	国際規制	リストのタイプ	数値/注記
S-メチル-N-(メチルカルバモイルオキシ)チオアセトイミデート(別名メソミル)	ACGIH	TWA 吸入濃度および蒸気	0.2 mg/m3
	ACGIH	TWA	SKIN, BEI

製造、混合作業、および包装作業に従事する労働者に対する推奨。散布作業者及び取扱者はラベルを読み、適切な防護具および防除服を装着すること。

曝露防止

工学的制御：局所排気装置や他の排気装置を使用して、気中濃度が許容濃度や管理濃度より低くなるように管理する。許容濃度や管理濃度が設定されていない場合、通常の作業は全体換気を行うことで十分である。一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

衛生対策：皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。取扱後および飲食、ガム、タバコの使用前、またはトイレ使用前には、石鹼と水でよく手を洗う。使用後は、全ての保護服を洗う。

保護具

呼吸用保護具：ダスト/ミスト除去呼吸保護具

以下は効果的な過式呼吸用保護具の種類である：防塵フィルター付き有機ガス用。

手の保護具：保護手袋

眼の保護具：安全メガネ（サイドシールド付）を着用する。

皮膚及び身体の保護具：長袖シャツと長ズボンの上にカバーオールを着用し、その上に着用する耐薬品性のエプロン

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态 色	水和性微粒及び細粒 青色
臭い	データなし
臭いの閾値	データなし
pH	6.6 10%
融点/ 範囲	データなし
凝固点	データなし
沸点 (760 mmHg)	データなし
引火点	データなし
蒸発速度 (フーリエット=1)	データなし
可燃性 (固体、気体)	非該当
爆発範囲の下限	データなし
爆発範囲の上限	データなし
蒸気圧	データなし
相対蒸気密度 (空気=1)	データなし
比重・相対密度 (水=1)	0.77
水溶性	データなし

n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
動粘度	データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし
分子量	データなし

注記: 上記の物理データは、代表値であり、仕様として解釈されるべきものではない。

10. 安定性及び反応性

反応性: 反応性危険としては分類されない。

化学的安定性: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 通常の状態では安定。

危険有害反応可能性: 知見なし。
特に言及すべき危害要因はない。

避けるべき条件: 知見なし。

混触危険物質: 強塩基類

危険有害な分解生成物: シアン化水素 (青酸) イソシアン酸メチル 窒素酸化物 (NOx) 硫黄酸化物

11. 有害性情報

本項にはデータが存在する場合に毒性情報が記載される。

急性毒性

急性毒性 (経口)

誤飲すると中等度の毒性がある。 通常の作業での誤飲では傷害は起こらないであろう。ただし、大量に誤飲すると重篤な傷害を引き起こすことがあり、死に至ることもある。

製品として。

LD50, ラット, オス, 73 mg/kg

製品として。

LD50, ラット, メス, 84 mg/kg

急性毒性 (経皮)

長時間の皮膚接触で、有害量を吸収することはないであろう。

製品として。

LD50, ラット, > 2,000 mg/kg

急性毒性 (吸入)

容易に到達しうる蒸気濃度で深刻な有害作用を来すことがあり、死に至ることもある。

製品として。

LC50, ラット, 4 h, 粉塵, 0.76 mg/l

皮膚腐食性/刺激性

皮膚刺激性は認められない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

軽度の一過性眼刺激作用を起こすことがある。

感作性

皮膚感作性:

動物実験では感作性なし。

呼吸器感作性:

関連のある情報は得られていない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

製品としての試験データは得られていない。成分のデータを参照。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

標的臓器: 肺

発がん性

有効成分について: 動物試験では発がん性はなかった。

催奇形性

有効成分について: 動物実験で催奇形性は示さなかった。

生殖毒性

有効成分について: 動物実験により、親に有毒となる用量と同じ、あるいはそれ以上の用量において、児動物への影響が示された。

変異原性

有効成分について: 動物実験では遺伝子の突然変異への影響は無かった。

誤えん有害性

入手可能な情報によると、誤えん有害性は確定されていない。

毒性分析に影響を与えるコンポーネント:

S-メチル-N-(メチルカルバモイルオキシ)チオアセトイミデート(別名メソミル)

特定標的臓器毒性、単回ばく露

眠気又はめまいのおそれ。

ばく露経路: 吸入

標的臓器: 中枢神経系

アルキルベンゼンスルホン酸金属塩

特定標的臓器毒性、単回ばく露

呼吸器への刺激のおそれ。

12. 環境影響情報

本項にはデータが存在する場合に生態毒性情報が記載される。

生態毒性

魚類に対する急性毒性

製品として。

LC50, コイ (Cyprinus carpio), 96 h, 9.41 mg/l

無脊椎動物に対する急性毒性

製品として。

EC50, Daphnia magna, 48 h, 0.0128 mg/l

藻類/水生植物に対する急性毒性

製品として。

EbC50, Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻), 72 h, 219 mg/l

残留性・分解性

S-メチル-N-(メチルカルバモイルオキシ)チオアセトイミデート(別名メソミル)

生分解性: 易生分解性ではない。

生体蓄積性

生体蓄積性: データなし。

土壌中の移動性

データなし。

オゾン層への有害性

データなし。

他の有害影響

データなし。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法: 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を

行っている場合にはそこに委託して処理する。以下の情報は購入時の状態のときのみに適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

道路及び鉄道輸送に関する分類 (ADR/RID):

国連輸送名	CARBAMATE PESTICIDE, SOLID, TOXIC(Methomyl)
国連番号	UN 2757
国連分類	6.1
容器等級	III
環境危険有害性	Methomyl

海上輸送に関する分類 (IMO-IMDG):

国連輸送名	CARBAMATE PESTICIDE, SOLID, TOXIC(Methomyl)
国連番号	UN 2757
国連分類	6.1
容器等級	III
海洋汚染物質(該当・非該当)	該当
MARPOL 73/78 の Annex I または II および IBC または IGC コードに従い積荷を運搬する。	Consult IMO regulations before transporting ocean bulk

航空輸送に関する分類 (IATA/ICAO):

国連輸送名	Carbamate pesticide, solid, toxic(Methomyl)
国連番号	UN 2757
国連分類	6.1
容器等級	III

この情報は、この製品に関わる特定の法令や輸送上の条件を全てお知らせするものではありません。輸送分類は容器の大きさや国や地域の法令により異なることがあります。追加情報は、弊社の営業担当者またはカスタマーサービスより入手してください。この物質の輸送にあたっては、輸送会社の責任において、適用される全ての法律、規制、規則に従ってください。

15. 適用法令

農薬取締法

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	濃度又は濃度範囲
S－メチル－N－（メチルカルバモイルオキシ） チオアセチミデート（別名メソミル）	45 %

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	濃度又は濃度範囲
S－メチル－N－（メチルカルバモイルオキシ） チオアセチミデート（別名メソミル）	45 %

毒物及び劇物取締法

劇物

化学名	濃度又は濃度範囲
S－メチル－N－〔（メチルカルバモイル）－ オキシ〕－チオアセトイミデート（別名メソミ ル）45%以下を含有する製剤	45 %

劇物 医薬用外劇物

化学物質排出把握管理促進法

第 1 種指定化学物質

化学名	濃度又は濃度範囲
S－メチル－N－（メチルカルバモイルオキ シ）－チオアセトイミデート（別名メソミル）	45 %

16. その他の情報

改訂

ID 番号：011000011443 / 発行日：2022/02/10/ 版番号：1.0

最新の改訂事項は、この文書全体にわたって、左側の余白に太字の二重線で強調してある。

凡例

ACGIH	米国。ACGIH 限界閾値（TLV）
SKIN, BEI	経皮吸収、生物学的ばく露指標
TWA	8 時間、時間加重平均

その他の略語の全文

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50% 阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50% 致死濃度; LD50 - 50% 致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性 (物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社は、お客様や (M) SDS の受領者の皆様が、この (M) SDS の掲載データや、この製品に伴う危険有害性を認識し理解するために、(M) SDS を慎重に検討され、必要に応じて適宜しかるべき専門家にご相談されるようお願いしております。掲載内容は誠意をもって提供したものであり、上述の発効日の時点で正確なものであると考えております。ただし、明示および黙示の保証を行うものではありません。法令の要求事項は、改正されたり、地域により異なることがあります。使用に関する適用法令の遵守は使用者の責任です。ここに掲載された情報は出荷した製品についてのものです。製造会社は製品の使用条件について関知するところではありませんので、製品の安全な使用条件は、使用者の責任において決定して下さい。各製造会社固有の (M) SDS などの情報源が増加していますが、弊社は弊社以外の製造会社から入手した (M) SDS に関しては一切責任を負いません。他の情報源から入手した (M) SDS をお持ちの場合や、お手元の (M) SDS が最新版であるという確信が持てない場合は、弊社にご連絡ください。

JP